



全国の書店で販売、海外書店でも発売を計画中

発行日：2012年8月発行予定

編者：鈴木比佐雄、若松丈太郎、矢口以文、鈴木文子、御庄博実、佐相憲一

翻訳者：郡山直、矢口以文、木村淳子、結城文

解説：若松丈太郎、矢口以文、鈴木比佐雄

発行：株式会社コールサック社

公募：詩作品と同封の承諾書をお送り下さい。

(掲載の採否は日本語の初校をもって代えさせていただきます。

英文翻訳校正は日本語校正が確定した後で数ヶ月先になります。)

参加費（翻訳代含む）：

1頁（日本語縦組み40行×1行25文字、英文は横組み）で2万円4冊贈呈

2頁では参加料は4万円、8冊贈呈

二〇一一年三月十一日の東日本大震災による福島原発事故は、日本人だけでなく世界の人びとの生き方や価値観を含めた科学技術文明の根幹の問い直しを突きつけられている。福島を抱えた日本は、福島を通して世界の文明の危機を克服する可能性を追求すべきではないか。詩を志すものは、自らの詩作で身近なところで声を挙げていくべきだろう。未完成な科学技術でしかなく、関わる人びとを被曝させる原発は、人間だけでなく地球環境そのものを取り返しのきかないように不幸にしてきた。原発から人間を自由にさせるためにはどのようにしたらいいか。それを様々な角度から詩に書いて欲しいと願っている。それが原発事故で苦しんでいる福島の人びとへの励ましになり、全国の原発を廃棄するための努力を傾注している人びとをも勇気づけることにつながるはずだと考える。日本語だけでなく英語にも翻訳するので、世界の人びとにも読まれる詩篇が望まれる。今こそ原発という「悪魔の技術」から人類と地球を解放すべきだと思われる。

また、直接的に原発に触れていなくとも、自然・宇宙の力の根源を見つめ、科学技術や人間の欲望の暴走を批判し、人間の深い知恵を甦らせる詩篇もお寄せ下さい。

以上の趣旨と方向性で左記のような章立てで詩篇を公募いたしますので、ぜひご参加ください。

(実際の章立ては集った詩篇に基づいて変更がある予定)



定価 2100 円 (税込)

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/view/242/>

『生活語詩二七六八集—山河編—』

2008 年 9 月 27 日刊行

有馬 敲・山本十四尾・鈴木比佐雄＝編

定価 2100 円 (税込)

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/view/240/>

『原爆詩一八一人詩集』

2007 年 8 月 6 日刊行

長津功三良・鈴木比佐雄・山本十四尾＝編

定価 2100 円 (税込)

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/view/237/>

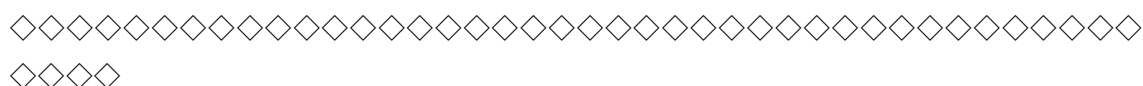
『原爆詩一八一人詩集・英語版』

2007 年 12 月 22 日刊行

翻訳＝郡山直・水崎野里子・大山真善美・結城文

定価 2100 円 (税込)

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/view/238/>



ホットニュース ②

詩誌「コールサック」71号 刊行！！

2011 年 12 月 28 日刊 定価 1000 円 (税込)

新たな意欲的詩人も増え、詩の活況とともに詩論やエッセイも充実しています。

海外からの参加や、翻訳詩もあり、いまこの国の詩誌としてはかなり光っていると言えるのではないのでしょうか。

内面と外界の、詩の描き方も多彩で、ひとつの詩運動となっています。書店で取り扱っていますので、どうぞよろしく。

【71号目次】

扉詩	奥主榮	せめぎあいの中で
詩	白糸雅樹	継承
	木島章	顔
	黒川純	それははじまっていたのだ
	山本倫子	切れ切れの八月の雲
	斎藤彰吾	北上川のトロッコ流詩
	武西良和	電車のなか①／電車のなか②
	橋爪さち子	野ぼたん
	吉田博子	夜の雨に
	中林経城	場所
	こまつかん	鎮魂／燕返し
	磯山オサム	今日を越えて
	鳥巢郁美	首傾けて／綾なした日が
	豊原清明	木馬の男／祈りの字幕
	井上優	ダリの卵
	くにさだきみ	死の雲／化けもの野郎に サヨウナラ
	崔龍源	じゃがいもの唄—終戦記念日に—
	下村和子	つなぐ
	青柳俊哉	意識／果樹園
	水月りら	消息／虹のしぐれ／なみだの記憶
	浅山泰美	冬から春へ
	うおずみ千尋	竹林の風
	山本泰生	忘れ物
	未津きみ	はるかな覚悟／ムラサキシキブ
	小村忍	夏の母／空き地の白い嘘
日英詩	尾内達也	かくれんぼ
芸術・時代状況論		
	青木みつお	「解体」の時代と想像力
詩人論	宮川達二	小熊秀雄研究 第三回 邂逅する人々
	楊原泰子	尹東柱研究 第三回
		宇治の川原で歌った「アリラン」
	新藤謙	茨木のり子研究 倚らぬ心と震える心

	奥主榮	有馬敲研究「未踏の沃土」 第二回 戦中から戦後への少年史
	石村柳三	師走のひとつきを散歩して —詩人朝倉宏哉さんの詩観を想念しつつ
小詩集	平井達也	『駅前商店街』 四篇
	萩尾滋	『モダン・タイムス』 四篇
	植田文隆	『手紙』 五篇
	松本賀久子	『小火星』 六篇
	東梅洋子	『大槌のおばあちゃん』 五篇
	児玉智江	『あっぱ (姑) 物語』 五篇
	岸田裕史	『メカニックコンピュータ IV』 六篇
	武藤ゆかり	『二〇一一年秋』 六篇
詩	宇宿一成	歌う石
	横田英子	冬のかたち
	青柳晶子	晩秋 (一) / (二)
	荒木せい子	階段 / 私を
	北原亜稀人	不確かな痛み / ミイのうた
	小林由実	見送り
	山本聖子	五文字の言葉
	中村花木	せつでん
	村永美和子	入道めいて
	皆木信昭	認知症 その 12
	中原かな	押し買い
	杉本知政	仮面の声を
	豊福みどり	鷺草
	酒井力	里山汚染
	石村柳三	大根腕になろうとも
	田中作子	シオカラトンボに想う
	結城文	列島のわれら
	郡山直	グランド キャニオン讃歌
	平原比呂子	繕う
	北村愛子	許してはならないと思うのだ
	やまもとれいこ	釣鐘 / 百億年の流れ / 21 世紀の民
	榊原敬子	しあわせな離婚
	橋田活子	シッポ
	齋藤岳丸	無知な言葉を投げかけないで /

10 万年後の孫よ

- 李美子 さぐる  
秋山泰則 未来を生きる君たちへ  
福士一男 無音／山鳩抄

連載エッセイ

- 貝塚津音魚 里山再生を夢見て③  
下村和子 日本の祭り（3）—御柱祭

エッセイ

- 正田吉男 放牛の歌、その背景  
浅山泰美 銀月アパートの光／夢みるアパート  
吉田博子 『私のもうひとりのお母さん永瀬清子先生との思い出』  
うおずみ千尋 盲目の日に その日（二〇一一年三月十一日）／  
海浴いの町  
山本倫子 「あんたは親で、わたしは子でね」  
平井達也 友だちが少ないことについて  
北畑正人 鈴木比佐雄詩論集（詩的反復力IV）に寄す  
秋山泰則 平和を祈る詩展を終えて

翻訳詩 韓国詩人二名（紹介・高畑烈／訳・李美子）

- 柳仁舒 皿クモ／舌  
金鎮玖 篩／お姫さまの家  
ジュディ・ハーディン・チャングの詩（第二回）（訳・結城文）  
露の滴の反射／遺産／世代／リアリティーについての瞑想  
ヴァレリー・アフアナシエフ（訳・尾内達也）  
パウル・ツェラン（訳・尾内達也） 時の目

解説 佐相憲一 新鋭こころシリーズ7

藤貫陽一詩集『緑の平和』立ちあがりのひたむきさ

書評

- 中林経城 『命が危ない3 1 1 人詩集』  
畑中暁来雄 『命が危ない3 1 1 人詩集』  
水月りら 『命が危ない3 1 1 人詩集』  
吉川悠子 吉田博子詩画集『聖火を翳して』  
横田英子 北村愛子詩集『見知らぬ少女』  
くにさだきみ 北村愛子詩集『見知らぬ少女』  
郡山直 堀内利美著『眼でよむ詩』（Poetry for the Eye）  
石川逸子 浅見洋子詩集『独りぼっちの人生』  
松尾静明 浅見洋子詩集『独りぼっちの人生』  
池下和彦 牧葉りひろ詩集『黄色いマントの戦士たち』



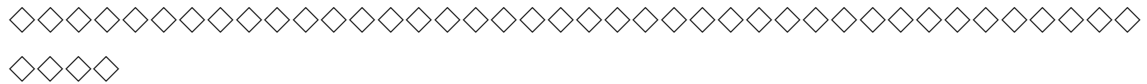
詩誌「コールサック」について

詩の世界に新たな活気をもたらす、いま注目の全国誌。  
会員制や同人制をとらず、号ごとに、意欲ある才能に開かれています。  
あなたも力作で参加してみませんか？  
次の 72 号のしめきりは 3 月 20 日です。

「書店で買った」「ホームページで見た」「知人にもらった」  
という方々からの問い合わせや参加希望の声が寄せられています。  
社会派も芸術派も生活派も、新鋭も大ベテランも、詩を愛する方々が全国から世界から。  
詩精神と時代の声がつまった、いま話題の詩誌です。  
詩作品と共に評論を重視し、詩人論や書評やエッセイも盛りだくさんです。  
詩界、マスコミ、平和関係、一般の詩愛好者など、広く読まれています。  
年 3 回刊（4 月末・8 月末・12 月末）

鈴木比佐雄・佐相憲一：共同編集

※掲載採否は編集部にご一任下さい。



新刊！

大井康暢全詩集

2011 年 11 月 25 日刊行 定価 5250 円（税込）

大井さんの詩集十一冊を収録した全詩集は、戦前戦後の歴史時間を  
根底に秘めている詩群であり、半世紀以上を懸けて時代と対峙しな  
がら、書き継がれた荒ぶる魂の記録である。

（解説文より 鈴木比佐雄）

（解説：西岡光秋/平野宏/高石貴/栗和実/西川敏之/佐相憲一/鈴木比佐雄）

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/view/502/>





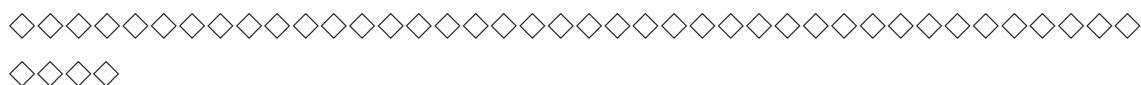
(解説 佐相憲一・黒川純・三浦茂男・和賀篤子・高橋昭八郎)

7 鈴木比佐雄詩論集『詩人の深層探求—詩的反復力IV (2006—2010)』

現代詩の論客が論ずる本格的な詩論・芸術論集シリーズ。

定価 1は1500円(税込)、2～7は2100円(税込)

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/index/38>



新刊！

詩人のエッセイシリーズ

6 浅山泰美エッセイ集『京都 桜の縁し』

こういう京都の感興を静かに綴れる人を、  
ぼくは何十年も待っていた。

(帯文より 松岡正剛)

(解説 鈴木比佐雄)

2012年2月22日刊行 定価1500円(税込)

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/view/528/>

7 中桐美和子エッセイ集『そして、愛』

中桐さんの日常の生き方と精神のありように、  
読者は深く感銘するに違いありません。豊かな情感と知性によって  
紡がれた文章は心の糧となり、多くの人に生きる喜びと力を与えて  
くれることでしょう。

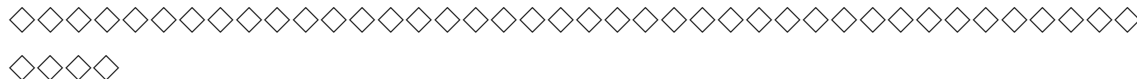
(帯文より なんば・みちこ)

(解説 鈴木比佐雄)





詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/index/37>



コールサック詩文庫詩選集シリーズ既刊 好評発売中！！

解説・詩人論

- 1 鈴木比佐雄 詩選集 133 篇 (三島久美子／崔龍源／石村柳三)
- 2 朝倉宏哉 詩選集 140 篇 (日原正彦／大掛史子／相沢史郎)
- 3 くにさだきみ 詩選集 130 篇 (佐相憲一／石川逸子／鈴木比佐雄)
- 4 吉田博子 詩選集 150 篇 (井奥行彦／三方克／鈴木比佐雄)
- 5 山岡和範 詩選集 140 篇 (佐相憲一／くにさだきみ／鈴木比佐雄)
- 6 谷崎眞澄 詩選集 150 篇 (佐相憲一／三島久美子／鈴木比佐雄)

既刊詩集に未収録作品を加えた包括的な編集、それぞれ 3 名の本格的な解説・詩人論を贅沢に収録。詩人の歴史と試みの全貌を一挙に読むことを可能にした画期的なシリーズ。お求めやすい定価 1500 円 (税込)、全国書店にて好評発売中！

詳細はこちらで→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/index/32>



近日刊！

コールサック詩文庫詩選集シリーズ

7 大村孝子詩選集



新刊！

片桐歩詩集『美ヶ原台地』











こちら→ <http://www.coal-sack.com/syosekis/index/42/2011>

ベアト・ブレヒビュール小説/鈴木俊・訳  
『アドルフ・ディートリッヒとの徒歩旅行』

木村淳子詩集『美しいもの』

岡田恵美子詩集『露地にはぐれて』

野村俊詩集『うどん送別会』

星野明彦詩集『いのちのにつき』

田中作子詩集『吉野夕景』

若松丈太郎著『福島原発難民』

森徳治評論・文学集『戦後史の言語空間』

尾崎寿一郎評論集『ランボー追跡』

吉田博子詩画集『聖火を翳して』

岡村直子詩集『帰宅願望』

北村愛子詩集『見知らぬ少女』

浅見洋子詩集『独りぼっちの人生 (せいかつ)』

片桐ユズル詩集『わたしたちが良い時をすごしていると』

堀内利美英語図形詩集『Poetry for the Eye (眼でよむ詩)』

牧葉りひろ詩集『黄色いマントの戦士たち』

多田聡詩画集『ビバ！しほりん』

大井康暢詩集『象さんのお耳』

田村のり子詩集

『時間の矢―夢百八夜』

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

近日刊行予定！

芳賀章内詩論集

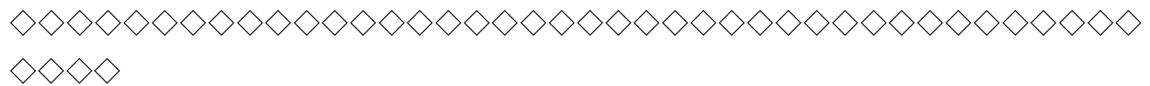
真田かずこ詩集

結城文詩集

正田吉男絵本

などなど・・・・・・

乞うご期待！



詩集・エッセイ集・詩論集など出版のご相談も承ります。

ホームページやブログのリンク、大歓迎です。  
お声をかけてください。

今後も皆様のお役にたつ情報を  
お届けさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

株式会社コールサック社（代表・鈴木比佐雄）  
担当 佐相憲一

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-63-4-509

TEL03-5944-3258 FAX03-5944-3238

E-mail: k.sasou@coal-sack.com

URL:<http://www.coal-sack.com/>

※配信停止ご希望の方は、お手数ですが、  
ご連絡をお願いいたします。